

## 登米の街並み：みやぎの明治村

宮城県北部の登米市にある歴史的な町並みは、ネオンサインや自動車の騒音が支配する

前の時代を思い起こさせます。かつて”とよま”と呼ばれていたこのエリアは、明治時代

(1868-1912) の建物が数多く残っていることから、しばしば「みやぎの明治村」と呼ばれて

います。主要な観光地には、教育資料館、警察資料館、旧水沢県庁庁舎、伝統芸能伝

承館 森舞台 (Noh Stage in the Forest) 、高倉勝子美術館、旧鈴木家武家屋敷

内の春蘭亭カフェなどがあります。

静かな街並みは、映画製作、テレビドラマの監督、アマチュアの写真家にとって人気の撮影

場所です。2021 年には、NHK の朝の連続テレビ小説『おかえりモネ』の舞台の一つとして紹

介され、120 話にわたって放送されました。この物語は、天気予報士を目指して遠田に戻る

若い女性の物語で、全国の視聴者に明治時代の懐かしい町並みを紹介しました。

旧水沢県庁では、前述のすべての観光スポットの割引チケットを販売しています。登米市の

歴史地区は仙台から簡単にアクセスでき、宮城明治村と仙台駅の間を 1 時間ごとにシャトル

バスが運行しています（所要時間：1 時間 35 分）。